

1. 目的

画面データの接続機器を MICREX-F または FLEX-PC → MICREX-SX に変更する際に、

PLC のローダソフト (SX-Programmer Standard V3) で作成した「アドレス割り付け」を利用してメモリ変換を簡単に行います。

例:



PLC のプロジェクトファイルも同じ「アドレス割り付け」で変更する必要があります。 「アドレス割り付け」が異なると、正常に動作しません。

テクニカルインフォメーション No. TI-M-0061-3 2/

2. 動作環境

<u>ソフト対応 Ver.</u>

•	作画ソフト	:V-SFT Ver. 5.4.28.0 以降
		V-SFT Ver. 6.0.0.0 以降

• PLC ローダーソフト : SX-Programmer Standard V3.0.6.24 以降

<u>V シリーズ / TELLUS 対応機種</u>

V9、V8、TS2060、V7、V6、TELLUS4、TELLUS3、TELLUS

富士電機 PLC 対応機種

変更前	変更後	
PLC 機種	PLC 機種	モード選択
MICREX-F シリーズ		
MICREX-F シリーズ V4 互換		
MICREX-F Tリンク	MICREX-SX SPH/SPB シリーズ	
MICREX-F Tリンク V4 互換	MICREX-SX SPH/SPB CPU	
SPB(Nモード)&FLEX-PC シリーズ	MICREX-SX(T リンク)	
SPB(Nモード)&FLEX-PC CPU	MICREX-SX (OPCN-1)	または N エード *2
FLEX-PC COM(T) *1	MICREX-SX (SX バス)	
FLEX-PC(T) *1	MICREX-SX(Ethernet)	
FLEX-PC CPU(T) *1		
FLEX-PC (0PCN-1) *1		

*1 V9、V8、TS2060、TELLUS4、TELLUS3、TELLUS は未対応。

*2 IECモードへの変換は非対応。

7	- クニカルインフォメーション	No. TI-M-0061-3	3⁄9

3. 手順

PLC のローダソフト (SX-Programmer Standard V3) は、Ver. 3.0.6.24 以降をご使用ください。

- ① PLC のローダーソフトを起動します。
- ② メニューバーの[ツール]→[アドレス割り付け]をクリックします。

🚻 SX-Programmer Standard						
ファイル(E) 編集(E)	表示(V) ブロジェク	小(P) オンライン(C) 変換(<u>C</u>)	ツール① ウィンドウѠ ヘルブ(ビ)		
i 🛅 • 💕 • 📕 🛛 🗃		A 9 C 🖽				
命令ジョグ				アドレス割り付け(A)		
÷				○∧和川岬ユーナイリナイ \型		
プロジェクト ビュー	F2 F3	F4 F5	F6			
		1		命令ジョグの設定(J)		
				オプション(0)		

[アドレス割り付け]ダイアログが表示されます。
 変更前の PLC のタブ (MICREX-F または FLEX-PC)を選択します。
 アドレスの割り付けなどを変更する場合は、選択後、[変更] をクリックします。*

アドレス割り付け				
FLEX-PC MICREX-F				
種別 開始アドレス W WB400 W WK0 B T0 B C0 DW TR0 DW W9.0 W CR0 W WD0 W WS0 W WA0 W WA1 折り返し番号 DW BD0 W WA1 茶号 サイズ	終了アドレス 割り付 WB511 WM512 WM511 WM0 WK63 WL0 T999 T10000 C511 C10000 W9.487 T10512 CR511 C10000 WD63 WM800 WS99 WS0 WA0 WSM14 WA3 WSM14 WA0 WSM14 WA0 WSM14 WA0 WSM14	サアドレス 増分値 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	〕追加(A) 変更(M) 育(D) 参3 育(D) 参3 (ネットのま) (ネットの転(B)	
			OK	キャンセル

* MICREX-F の場合、ビット反転を行うアドレスは、[ロビット反転] にチェックします。 ローダーソフトの使い方について、詳しくはマニュアルを参照してください。

④ [保存]をクリックします。ファイルが出力されます。
 変更前の PLC 機種により拡張子が異なります。

MICREX-F : *. fad FLEX-PC : *. nad

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0061-3	4⁄9

- ⑤ V-SFTを起動して、画面データを開きます。
- ⑥ メニューの[システム設定]→[接続機器設定]を開き、[変更]をクリックします。

🔩 [MIC REX-Fのシステム.V8] - [接続機器設定]					
● ファイル(E) 表示(V) 登録項目(B)	システム設定(A) ツール(D ウィンドウ(W) ヘルプ(H)			
] 🗋 🚅 🖪 🎇 🎟 🐉 🖪 🔍 🕅	🖲 📴 OFF 🛛 🔽 100%	🔽 😘 🗰 🛤 🖽	?		
) 🎫 🔏 🛎 123 mc 🔤 🖶 👎 👎	9 🖬 🗱 🕹 🛄 🕑	ñ 🛛 🖉 🖬 📕 🞆	🖶 🖽 🖷 角 🎘 🔞 🚺 M 🤇		
] / • 🗆 • O • A _{BC} • • • 🧐] • @ • A • •	• ⊕ • / • - • ■ •	」言語 1 🖌 🖌		
Kha: GGEES		R			
□ ■ V810T (640 * 480) 32K色 ▲ PLC1					
	接続機器	PLC			
		富士電機			
→ ¥ PLC5:未接続	機種	MICREX-Fジリース*			
→ × PLC7:未接続	接続先ポート	CN1	変更		
→ ¥ PLC8:未接続					

⑦ [接続機器選択]ダイアログで、機種変更をします。
 例 : MICREX-F シリーズ⇒MICREX-SX SPH/SPB シリーズに変更する場合

PLC1 接続機	器選択			
接続機器	PLC 🗸			
メーカー	富士電機	×		
機種	MICREX-Fシリース*	×		
接続先ボート	CN1			
		OK キャンセル		
	+44 13	f 亦 西	-	
	(成性)	整 发史		
PLC1 接続機	器選択			
接続機器	PLC 🔽			モード選択
メーカー	富士電機	×		
機種	MICREX-SX SPH/SPBシリーズ	~		
接続先ポート	CN1 💌			
		OK キャンセル		

⑧ 以下のメニューで [はい]を選択し、[メモリ変換] ダイアログを表示します。



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0061-3	5⁄9
テクニカルインフォメーション	NO. $11 - M - 0001 - 3$	5/9

(9) [インポート]ボタンをクリックします。

手順④で保存したファイルを選択し、[開く] をクリックします。

例 : MICREX-Fの場合

メモリ変換				
変更前スタートメモリ 変更前エンドメモリ WM00000 WM65535 WK00000 WK65535 WB00000 WB65535 WD00000 WE65535 WD00000 WE65535 WF00000 WF65535 TS00000 TS65535 TR000000 TR65535 CS00000 CS65535 CS00000 CS65535 BD000000 B065535 WS00000 WS65535 W0:00000 WS65535 W0:00000 WS65535	変更後スタートメモリ WX0.0000000 WY0.0000000 WM0000000 WM0000000 WM0000000 WM0000000 WM0000000 Prd/Lの場所Q: Im F_SX_address.fad ファイル名(い): ファイルの種類(い):	ノ	曾分値	? × >▼

PLC のローダソフトでエクスポートした内容に更新されます。

×	モリ変換			
	変更前スタートメモリ WB00400	変更前エンドメモリ WB00511	変更後スタートメモリ WM00000512	
	WK00000 BD00000 F000000	WM00511 WK00063 BD00999 F000003	WL00000000 DL00001000 SM00000000	② ← デバイス "BD"の増分値について
	F00000D F00000E F00001F F000020	F00000D F00000E F00001F F000020	SM00000001 B SM000000018 SM00000002F SM00000004E	1 V-SFI にインボート時、PLC のローダー 1 ソフトに設定した増分値(手順③)の
	F00002F F000050 F00005E F00005E	F00002F F000050 F00005E F00005E	SM00000004F SM00000043F SM000000016 SM00000000B	1 2倍になります。 1 1
	F000100 F000110 F000120	F000109 F000119 F000129	SM0000001280 SM00000128A SM000001294	メモリ変換結果例:増分値"2" BD0 ⇒ DL1000
	F000130 F000140 F000150	F000139 F000149 F000159	SM00000129E SM000001308 SM000001312	$\begin{array}{c} \text{BD1} \Rightarrow \text{DL1002} \\ \vdots & \vdots \end{array}$
				OK キャンセル

画面データに使用できる MICREX-SX のメモリは以下のとおりです。このメモリ以外は「??」で表示されるため、 [変更後スタートメモリ] (ダブルクリックで変更可)で変更してください。

	デバイス	備考
Х	(入力メモリ)	ワード時 WX ダブルワード時 DX
Y	(出力メモリ)	ワード時 WY ダブルワード時 DY
М	(標準メモリ)	ワード時 WM ダブルワード時 DM
L	(リテインメモリ)	ワード時 WL ダブルワード時 DL
SM	(システムメモリ)	ワード時 WSM ダブルワード時 DSM
WFL	(ユーザーファイル)	ダブルワード時 DFL

* X/Y を使用する場合は P.6 以降をご覧 ください。

 * WFL/DFL は V9、V8, TS2060 のみ F モード 選択時に使用可能です。
 使用する場合は P.6 以降をご覧ください。

確認後、[OK]をクリックします。以上で、メモリ変換は終了です。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0061-3	6⁄9
----------------	-----------------	-----

- X/Y、もしくは、WFL/DFL (Fモードのみ)を使用する場合(デバイス情報のエクスポート手順) デバイス情報(*.ini)のエクスポート/インポート作業が必要です。 ラダー内で WFL/DFL を使用していない場合、インポートファイルに WFL/DFL の情報が出力されません。 WFL/DFL を使用した回路をラダー内に追加してから、エクスポート作業を行います。 X/Y のみを使用する場合は、手順③からご覧ください。
 - ① SX-Programmer Standard で、WFL を使用した回路を追加します。



② [変換]→[プログラムチェック]をクリックしてエラーがないことを確認します。

🕅 SX-Program	mer Standa	rd - Project	1 [Ladder0]					
ファイル(<u>E</u>)	編集(<u>E</u>)	表示(⊻) つ	プロジェクト(<u>P</u>)	オン語	ライン(<u>0</u>)	_ 変換(<u>C</u>)	ツール(<u>T</u>)	ウィンドウ(<u>W</u>)
i 🛅 • 💕 • 🔒	🛃 🗳	X 🖻 🛍	🗚 🤊 🕲	***		1 × 19	e(<u>C</u>)	F11
命令ジョグ						すべ	て変換(<u>A</u>)	
接点/出力(1)	- + ⊢	- -1/	- 11	⊣↓⊢	-()-	😰 🎜 🛛	グラムチェッ	ク(<u>P</u>)
プロミックトレ	F2	F3	F4	F5	F6	2 J14	もステエッン(3	2) CUITEII

③ [プロジェクト]→[エクスポート]→[デバイス情報]をクリックします。



④ 任意の名前を付けて V-SFT 用のインポートファイル(*. ini)を保存します。

↓ デバイス情報のエクス	マポート					×
○○ - ▲ « □-	カル ディスク (D:) 🕨	インポート用ファイル	- - € 1	インポート用:	ファイルの検索	
整理 ▼ 新しいフ;	オルダー					0
名前	^	更新日時	種類	サイズ		
	検索	条件に一致する項目は	ありません。			
ファイル名(N) ラ	デバイス情報					-
ファイルの種類(工): 山	NI ファイル (*.ini)					•
🍙 フォルダーの非表示	Ę			保存(<u>S</u>)	キャンセ	ル

* デバイス情報のファイル(*.ini)と同じ名前フォルダができます。

以上でデバイス情報のエクスポート作業は終了です。

テクニカルインフォメー	ション	No. TI-M-0061-3	8⁄9
			1

5. デバイス情報のインポート手順(V-SFT-5の場合)

① [ファイル] → [プロジェクト] →[インポート]をクリックします。

◆「無 <u>5 ∨ № 1 - [ス</u> クリーン[0]	編集 ()]
 []ファイル(E) 編集(E) 表示 	⊼(<u>∨</u>) パーツ	レ(<u>P</u>) 登録項目(<u>R</u>) 画面設定(<u>I</u>) システム
」」新規作成(Ⅳ)	Ctrl+N	FF - 100% - 🐪 🗰 🗰
B ≌ 開<(<u>0</u>)	Ctrl+0	▼ 10 🔶 日本語 👻
□ 上書き保存(<u>S</u>)	Ctrl+S	• (P) • A • ! • . • / •
名前を付けて保存(<u>A</u>)		
 言: プロパティ(<u>I</u>)		
」 プロジェクト(<u>1</u>)		ゴロミッナ ケト(1)
		インポート(<u>M</u>)
」		エジスパー F(E)… メモリ選択(<u>L</u>)…

② [参照]をクリックし、P. 7の④で保存したファイルを選んで [開く] をクリックします。

プロジェクト情報選択		< ファイルを開く				—
۸°ス:		ファイルの場所(1):	1	ンポート用ファイル	- 🧿 🌶 🖻	
Untitled.ini · 参照(B)	⇒	名前		更新日時	種類	サイズ
▼プロジェクト情報を画面データに格納する		🌗 デバイス情報		2018/11/13 11:16	ファイル フォルダー	
ブロジェクトファイル更新時日は必ずプロジェクトファイル を再選択してください。		🖉 デバイス情報	.ini	2018/11/13 11:16	構成設定	1 KB
OK +#>セル						
		ファイル名(<u>N</u>):	デバイ	ス情報ini		IIKO)
		ファイルの種類(工):	*.ini		•	キャンセル

③ [プロジェクト情報選択]ウィンドウで指定したパスが表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。

プロジェクト情報選択
パス: D¥インポート用ファイル¥デバイス情報 ini ◆
 ✓ プロジェクト情報を画面データに格納する プロジェクトラマイル更新時には必ずプロジェクトファイル
を再選択してください。

- * 画面データ転送時は、指定したパスにデバイス情報ファイル(*.ini)と同じ名前のフォルダを 格納しておいてください。
- ④ [ツール]→[エラーチェック]をクリックして、エラーがないことを確認します。

◆ [無題.V8] - [スクリーン[0] 編集 ()]	
🖳 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) パーツ(P) 登録項目(R) 画面設定(I) システム設定(A)	「ツール(I) ウィンドウ(W) へルプ(H)」
] 🗋 🚅 🖪 🗱 📾 🐉 🖨 💐 👀 🖬 OFF 🕒 100% 🚽 😘 🏟 📾 🖽 🚺	エラーチェック(<u>E</u>)
B I A ▼ A MS ゴシック ▼ 10 🔆 日本語 ▼ ■,	変数名一覧(N)
] ∕ ▼ □ ▼ ○ ▼ ABC ▼ · · ▼ 🇞] ▼ 🕑 ▼ A ▼ 🖡 ▼ 🎰 ▼ ∕ ▼ — ▼	全コンパイル(A)

以上でデバイス情報のインポート作業は終了です。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0061-3	9⁄9
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0061-3	9/

6. デバイス情報のインポート手順(V-SFT-6の場合)

① V-SFT-6の、[MICREX-SX] → $[4 \vee \pi^{-1}]$ をクリックします。



② [参照]をクリックし、P. 7の④で保存したファイルを選んで [開く] をクリックします。

プロジェクト情報選択					
パペス: Untitled.ini ・ ● 愛照(R)					
プロジェクト情報を画面データに格納する プロジェクトファイル更新時には必ずプロジェクトファイル 茶再選択してください。					×
OK ++>tzル		ポート用ファイル 🕨	 ✓ 49 インオ 	ペート用ファイル	の検索 👂
	整理 ▼ 新しいフォルダー				
	名前	更新日時	種類	サイズ	
	▶ デバイス情報	2018/11/13 11:16	ファイル フォル #ポネー	1.175	
)値 アハイス消報。INI	2018/11/13 11:10	伸 风設足	I KB	
	ファイル名(N): デバイン	ス情報.ini	✓ *.ini		-
			開く	(<u>O</u>) = ++	マンセル

③ [プロジェクト情報選択]で指定したパスが表示されていることを確認し、[OK]をクリックします。

プロジェクト情報選択
パス: DRAC はート田フライルメデドイフ 性報 ivi 年四/DY
 ジョンパード用ノバイルギリハイス(1418/10) ▼
プロジェクトファイル更新時には必ずプロジェクトファイル を再選択してください。
OK ++>tell

- * 画面データ転送時は、指定したパスにデバイス情報ファイル(*. ini)と同じ名前のフォルダを 格納しておいてください。
- ④ [ツール]→[エラーチェック]をクリックして、エラーがないことを確認します。

	👧 🔌 🛏 I	200	OFF	· ▼ 1:日本	語ゴシック		🗧 🔿 🔻	スクリーン	[0] - V Series Ec	litor for \	Vindows
		レホー	4	パーツ	編集 表	示	画面設定	転送	システム設定	ツール	ヘルプ
ſ	Q					•					
I	エラーチェック	使用状況 一覧	検索	デバイス	Windows フォント・	多言語	カーソル 移動順No.*	スクリーン ライブラリ	3Dパーツの 枠サイズの固定-	その他	画面イメー
V	エラー	エラー 検索			一括変更						

以上でデバイス情報のインポート作業は終了です。

【お問い合わせ】 発紘電機株式会社 技術相談窓口 フリーコール:0120-128-220 FAX:076-274-52	208
---	-----